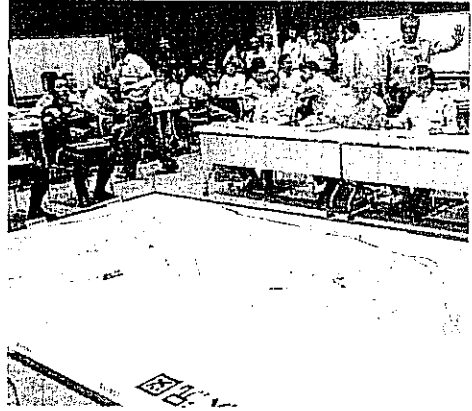


新聞新報

2008年(平成20年) 1月18日 金曜日

大地震想定の上図訓練

昭島市 被害状況把握目的に



地図上で被害状況をまとめる
から行われた上図防災訓練

阪神大震災から13年目の17日、昭島市は、大規模地震での被害状況把握などについて、上図の防災訓練を市役所で行った。同市が震災に備えて上図訓練を行うのは初めて。初期活動時の

情報が少ない中、各機関が連携しながら、どれだけ対応できるか、実践的な訓練を通じて対応能力を向上させることが狙いだ。

多摩北西部を震源とするマグニチュード7・3の直

下型地震が発生したとの想定で行われ、総務部、福祉保健部などの職員のほか、昭島署員、昭島消防署員ら計約100人が参加した。

災害対策本部が設けられると、火災発生状況、停電状況、道路の通行止めの情報などが次々に入り、会場は緊張感に包まれた。職員は福祉班、下水道班、学務班などに分かれ、それぞれ

状況分析や対策などを本部に伝達。会場の中央に置かれた大きな地図には印で被害状況が示され、それを踏まえて本部から、避難者の誘導やがれき撤去といった指示が次々に出された。